

行財政改革

人口減少社会に対応した
効果的・効率的な市役所運営を

民間活力の導入やムダな事業の見直し

今後、人口減少・少子高齢化の進展により、市税収入の伸びは期待できない一方、福祉経費は年々増加することが予想されています。また、借金である赤字地方債の残高も増加し、負担の先送りが問題となっています。

このような状況の中、行財政改革による効果的・効率的な市役所運営は不可欠です。税金の使い方をチェックし優先順位を付けるとともに、民間に任せ方がサービス向上・経費縮減につながる事業や、既に役割を終えた事業などの見直しに取り組んでいきます。

- 財政規律の確保
- 民間活力の導入による市民サービスの向上とコスト縮減
- 団体等への補助金・委託費をゼロベースで見直し
- 市有財産の有効活用
- 市役所業務の効率化と職員の意識改革など

人事・給与制度改革

公務員を
「身分」から「職業」へ

給与水準の適正化と年功序列の打破

市職員の給与は、民間企業と比べて高い水準にあります。市の人件費は年間約 200 億円もあることから、その適正化により大きな財政効果が見込まれます。

また、年功序列の給与制度により、上司と部下で年収の逆転現象が発生し、職員のやる気の低下が懸念されています。年功序列を打破し、頑張った職員が報われる給与制度への改革が必要です。公務員を「身分」から「職業」へと変えるため、民間企業や先進自治体の事例を参考に、制度の抜本的な改革に取り組んでいきます。

- 技能労務職員の給与水準の適正化
- 年功序列から責任と処遇の一致する制度への改革
- 時間外勤務手当の抑制
- 相対評価による人事評価の実施
- 民間企業経験者・専門職の採用枠の拡大など

すべての既得権を見直し、市役所を徹底改革 市民の手に税金と政治を取り戻します!!

公正・公平な市政

不当な既得権と闘います

透明性を高め「えこひいき」を認めない

枚方市では、これまで組織ぐるみで市長選挙などに関与することで、職員労組への便宜供与が認められてきました。また地域では、一部の校区コミュニティ協議会や自治会で「民主的な運営がなされていない」「組織を政治に利用している」などの問題が発生しています。

市政は公正・公平に運営されるべきで、一部の声の大きい人たちだけのものではありません。不当な既得権に対しては毅然と闘い、問題点をオープンにするとともに、その是正を図っていきます。

- 職員労働組合への便宜供与の見直し
- 市長及び職員の公正・公平な職務執行の確立
- 情報公開の推進
- 口利き防止条例の適正な運用
- 校区コミュニティ協議会・自治会の民主的運営の確立など

定住促進・人口誘導

住宅都市としての
まちの魅力向上へ

施策の「選択と集中」で「未来」へ重点投資

人口減少社会を迎え、いかに定住促進を図っていくかは大きな課題です。特に地域の活力となる若い世代の定住促進は、安定した税収の確保に不可欠であり、持続的発展が可能なまちとなるためのカギとなります。

そのためには、施策の「選択と集中」による子育て支援・教育施策への重点投資をはじめ、安心・安全なまちづくりの推進など、住宅都市としての魅力を向上させる必要があります。すべての世代が、枚方市に魅力を感じてもらえる施策の充実に取り組んでいきます。

- 未来への重点投資（待機児童の解消、少人数学級の推進など）
- 浸水対策の促進
- 減災対策の推進
- 枚方市駅周辺再整備の推進
- 公共交通網の充実・利活用促進など